

指定管理施設（ かさはら福祉センター ）事業評価表

項目	区分	具体的内容	目標・ねらい			年度評価		令和元年度の実施状況		令和２年度の実施状況		取組み、成果、利用者の満足度・評価、課題分析、自己評価
						R1 年度	R2 年度					
に福高 関社 す相 る談 こ及 障 びが 健 い 康 者 相 等 談 の	1	生活・健康相談の実施	回数	実施日	ねらい			実施回数 (回)	参加延べ人 数(人)	実施回数 (回)	参加延べ人 数(人)	・来所や電話により相談を受け、適切なサービスにつな ぎ適切なアドバイスをした。また、必要に応じて、関係機 関(民生児童委員等)との調整を行った。 ・受付において気軽に声をかけるほか、掲示物を見てい る方に声をかけたり、日頃から相談しやすい雰囲気づく りに努め、来館者からの話も積極的に伺った。
		地域包括支援センター職員の 協力のもと、介護や生活に関 する相談に応じる。	-	随時	高齢者及び障がい者等 からの健康相談や福祉 相談を受け、必要に応 じて自宅訪問を行う 身体状況の把握と管理			—	—	—	—	
		健康相談	12	原則、月１回				10	132	1	10	
		小計	0	—	—	—	—	10	132	1	10	
		計	0	—	—	—	12	10	132	1	10	
高 齢 者 の 教 養 講 座 等 の 実 施 に 関 す る こ と	1	高齢者等の生活、健康に関する 講座の実施	回数	実施日	ねらい			実施回数 (回)	参加延べ人 数(人)	実施回数 (回)	参加延べ人 数(人)	・笠原地域福祉協議会、地域包括支援センターおよび保 健センター等との共催事業として実施し、一般来館利用 者等に、窓口で参加等の働きかけをした。 ・ロコミでの周知が多く、体操等の体を動かす講座も人 気があり、継続して実施した。 ※新型コロナウイルス感染拡大防止のため、4月1日から 5月24日まですべての事業を中止した。また、6月から参 加者の安全に配慮して、一部の教室は再開した。なお、 ニーズ把握のためのアンケート調査を実施する予定で あったが、コロナ禍で利用者減少により中止にした。
		健康づくり 「貯筋体操」	12	月１回	・高齢者の心身機能の 維持・向上を図るとと もに、仲間づくり、生 きがいきづくりを助長す る。			42	382	13	154	
		健康づくり 「バランスボールを使った体 操」	3	年３講座 (1講座： 10				28	554	25	449	
		健康づくり 「リンパ・ドレナージュ」	24	月２回				20	269	19	248	
		健康づくり 「３Ｂ体操」	24	月１回				22	301	16	168	
		健康づくり						12	292	0	0	
		健康麻雀						18	80	2	7	
		健康づくり						11	145	10	79	
		詩吟教室						22	105	19	68	
		教養知識 折り紙教室	12	月１回				11	61	6	21	
		教養知識 パッチワーク教室	24	月2回				1	24	0	0	
		教養知識 絵手紙教室	12	月１回				1	8	36	853	
		教養知識 シルバークッキング	1	7/11/2020				1	24	0	0	
		教養知識 麻雀教室						1	29	0	0	
		教養知識 朴葉寿司づくり						1	16	0	0	
		教養知識 料理教室						2	43	1	11	
		介護予防 家族介護教室	2					3	59	1	16	
		介護予防 認知症サポーター養成講座	1					12	175	8	123	
		介護予防 認知症予防講座	3	年３回								
		介護予防 介護予防教室	4	年４回								
		小計	122	—	—	—	—	208	2,567	156	2,197	

項目	区分	具体的内容	目標・ねらい			年度評価		令和元年度の実施状況		令和２年度の実施状況		取組み、成果、利用者の満足度・評価、課題分析、自己評価		
						R1 年度	R2 年度							
		医療講座	回数	実施日	ねらい			実施回数 (回)	参加延べ人数 (人)	実施回数 (回)	参加延べ人数 (人)	・例年、テーマを決め、各専門の医師、看護師、薬剤師を講師にして講座を開催した。 ・事前にテーマを周知し、利用者が興味がある話を選択できる体制にした。 ※新型コロナウイルスの影響で、参加者の安全が確保できる時期に実施した。		
		公開医療講座	12	月１回	医師、薬剤師より、生活習慣病等の予防法を学ぶ。			12	292	1	9			
		小計	12	－	－			12	292	1	9			
		計	134	－	－			－	13	220	2,859		157	2,206
地域福祉増進のための講座等に関すること	1	生きがい健康塾	11	月１回	身近な地域を散策等を行い、閉じこもり予防			19	473	20	371	・地域福祉協議会および地域包括支援センターが主催する講座に協力して実施した。 ・高齢者の閉じこもり予防策として実施し、季節に合わせた内容や目を引くようなタイトルにして参加者の拡大を図った。 ※コロナ禍であったが、安全面に配慮して実施できた。		
		教養知識 ガーデニング講座	4	年４回 (四半期ごと)				3	62	4	71			
		小計	15	－	－	－	－	22	535	24	442			
		計	15	－	－	－	13	22	535	24	442			
福祉施設等との連携、周知、包括協	1		回数	実施日	ねらい			実施回数 (回)	参加延べ人数 (人)	実施回数 (回)	参加延べ人数 (人)	・障害者福祉センターおよび笠原地域にある障がい者・児施設の事業を紹介するとともに、必要に応じて連携をした。 ※コロナ禍で、かさはら福祉まつりは中止となった。		
		かさはら福祉まつり (地域社協主催)	1		校区内の福祉関係団体の交流・連携と福祉センターのPR			1	800	0	0			
		障がい者施設との連携		随時	笠原地域の障がい者施設を紹介し、住民への周知と理解を促す。			－	－	－	－			
		小計	1	－	－			－	－	1	800		0	0
		計	1	－	－			－	11	1	800		0	0
福祉関係団体との連携、支援に関すること	1		回数	実施日	ねらい			実施回数 (回)	参加延べ人数 (人)	実施回数 (回)	参加延べ人数 (人)	・作業室を利用希望団体に開放し、印刷・製本作業が自由に行えるように使用方法の説明をし、地域住民の自主的な活動やボランティア活動の促進を図った。 ・作業室を自由に使用してもらうための環境作りをし、消耗品の補充、機械の点検を行った。 ・イベント事業に伴うポスターの掲示に協力した。 ・笠原地域民生児童委員協議会、多悠連笠原校区連合会に出席し、情報交換等を積極的に行った。 ・各団体の現状を把握するとともに、課題を共有することで地域との信頼関係を築いた。		
		各種福祉団体の活動支援のため、作業室を利用してもらい、資料作成等を支援する。	－	随時	各種団体が、利用しやすいように機械の整備及び作業室の整理整頓を行う。また印刷機の使用方法的説明を行			－	－	－	－			
		多治見市悠光クラブ連合会との連携	2		情報交換、協力、支援			2	300	3	79			
		民生児童委員協議会との連携	11	月１回				11	314	3	85			
		小計	13	－	－			－	－	13	614		6	164
		計	13	－	－			－	13	－	－		6	164

項目	区分	具体的内容	目標・ねらい			年度評価		令和元年度の実施状況		令和２年度の実施状況		取組み、成果、利用者の満足度・評価、課題分析、自己評価
						R1 年度	R2 年度					
ボランティアの養成に関する事	1		回数	実施日	ねらい			実施回数 (回)	参加延べ人数 (人)	実施回数 (回)	参加延べ人数 (人)	・共有スペースに活動紹介、イベントの案内のためのチラシの設置スペースを開設し、各団体の広報活動を促進した。 ・最新の情報を掲示し、参加が少ない事業は目立つスペースに掲示するよう心掛けるとともに、参加を呼び掛けた。 ・健康についての問い合わせが多く聞かれており、健康に関する情報を積極的に掲示した。 ・福祉協力校として、地元の小中学校の取り組みを紹介した。
		福祉センター正面玄関に掲示板を設置し、各種講座、ボランティア団体の活動紹介を実施する。	-	随時	募集チラシなどの掲示希望団体から出されたものを掲示し、各団体の活動を支援する。			—	—	—	—	
		ボランティア情報コーナーの設置	-	随時	ボランティアの募集や養成講座の開催等に関する情報を掲示する。			—	—	—	—	
		ベルマーク及び古切手募集コーナーの設置	-	随時	身近なボランティア参加として協力を呼び掛ける。			—	—	—	—	
		福祉教育	-	随時	かさはら福祉センターを拠点に福祉活動を啓発する。			—	—	—	—	
		小計	0	—	—	-	-	0	0	0	0	
		計	0	—	—	—	11	0	0	0	0	
増進の他ため高齢者に必要ない者の福祉	1		回数	実施日	ねらい			実施回数 (回)	参加延べ人数 (人)	実施回数 (回)	参加延べ人数 (人)	・高齢者が気軽に利用できるように開放し、集いの場となるようにした。職員からも積極的にあいさつ、声掛けをした。 ・常設のコグニサイズレーンを設置し、手と足を同時に動かすことで脳と体のバランスを保てるよう、自主的に取り組むよう来館者に声をかけた。 ・新型コロナウイルス感染状況が緩和されたため、多治見市担当課と協議し、7月1日から浴場を一般開放をしたが感染状況悪化したため、8月8日から再度閉鎖をした。
		コグニサイズ		随時	転倒予防等、軽運動の実施			—	—	—	—	
		健康情報紙の発行	12					7	—	6	—	
		浴場、ヘルストロン、健康器具、囲碁、将棋、ビリヤード、カラオケ等の施設の開放及び管理を実施する。	-	開館日	個人でも気軽に安心して利用できるような仲間づくりの場を提供する。			—	—	—	—	
		小計	0	—	—	-	-	-	-	0	0	
		計	0	—	—	—	12	-	-	0	0	

(留意事項) ※「区分欄」は、指定管理者の協定書・仕様書で定められた事業は「1」、協定書等がない自主事業は「2」を記入。

「年度評価欄」は、次の内容で記入。

・仕様書以上：15～12点、仕様書に忠実：11～9点、仕様書の一部不実施（軽微）：8～7点、仕様書の一部不実施（中程度）：6～3点、それ以下：2～0点